

第6学年〇組 外国語科学習指導案

〇〇年〇月〇〇日 (〇) 第〇校時

指導者 担任 〇〇 〇〇

ALT 〇〇 〇〇

教科指導員 〇〇 〇〇

1. 単元名 「My Best Memory～小学校生活の思い出ブックを作り、友達と伝え合おう～」

(We can!2 Unit7)

2. 単元の目標

○他者に配慮しながら、思い出の学校行事について伝え合ったり、聞き合ったりしようとする。

【コミュニケーションへの関心・意欲・態度】

○学校行事を表す表現や、思い出の学校行事を尋ねる表現に慣れ親しむ。

【外国語への慣れ親しみ】

○日本の学校行事との違いに気付くとともに、外国のさまざまな学校行事に興味をもつ。

【言語や文化に関する気付き】

3. 単元について

(1) 児童観

<省略>

(2) 教材観

本単元は、小学校卒業を前にも、今までの学校生活をふりかえり、自分自身の思い出に残っている出来事を他者と伝え合う内容である。卒業を目前にした現在、6年間という長い小学校生活をふりかえることは、児童にとってとても有意義であり、それを英語で表現することで児童の生活に自然に英語が入っていくことになる。学習を通して、さまざまな学校行事をふりかえるとともに、外国の学校行事と比較していくことで、自分たちの学校生活をより深くふりかえることができる。また、本単元では、“was”などの過去形や“fun”などの感想を伝える表現など、既習内容との繋がりがあがる単元である。自分の思い出について伝えるために、これらの既習内容のふりかえりが必要となってくる。

(3) 指導観

本単元の学習を進める上で、小学校生活の中で、思い出に残っている出来事とその理由を児童の思いがしっかり表現できる形にしたい。そこで、小学校生活の中での1番の思い出に限定するのではなく、6年間の中で思い出に残っている出来事を自由に表現できるようにするために、単元の目標を「思い出ブックを作ろう」というテーマを設定する。単元の導入では、今までの学年での出来事について写真などを活用し、フリートークをさせながら十分にふりかえさせた上で、行事等の語彙を学習していく。さらに、事前にとったアンケートをもとに掲示物や語彙を事前に用意しておく。

導入では、6年間の小学校生活の思い出をふりかえりながら児童の学習意欲を高めるとともに、音声教材などを活用しながら自分の思いを伝えたり、友達と伝え合ったりするために必要な語彙・表現に十分に触れさせる。わからない語彙・表現は、担任やALT、教科指導員の先生に尋ねながら学習に取り組むようにさせる。また、他者に伝える時には、ジェスチャーなどの表現方法を活用し、なんとかして他者に

伝えようとする意識をもたせながら取り組むようにしていく。毎時間のふりかえりでは、「言いたかったけど、言えなかったこと」を児童に尋ね、全体で共有することで、児童の「言いたい」という気持ちを大切にするとともに、相手に伝えることに対する意欲を高められるようにする。

単元後半では、思い出ブックを作成し、思い出に残っている出来事と理由を伝える文とその絵を描けるようにする。思い出を伝えるための文が書けるように、アルファベットの掲示物や四本線を活用しながら「書くこと」への抵抗感や難しさを軽減し、意欲的に取り組めるようにする。また、視覚的に相手に伝わりやすいように絵を描くなどの工夫を取り入れることで、児童の活動がスムーズに行えるようにするとともに、自分の思いを表現することへの意欲を高められるようにする。

4. 単元の評価規準

知識及び技能	思考力, 判断力, 表現力等	学びに向かう力, 人間性等
思い出に残っている学校行事や出来事について、言ったり聞いたりすることができる。	学校行事について伝え合ったり、例文などを参考にしながら語順を意識して書いたりしている。	相手に伝わるように工夫しながら、思い出に残っている学校行事や出来事を伝えようとしている。

5. 単元計画 (4時間)

時	目標 (◆) と主な活動 (【 】、○) 【 】は誌面活動	◎評価 (評価方法)
1	<p>◆小学校生活をふりかえるとともに、世界のさまざまな学校行事について知り、日本との学校生活の違いに気づくことができる。</p> <p>○写真を見ながら、今までの学校生活をふりかえり、思い出に残っている出来事などについてグループで話し合う。</p> <p>【Let's watch and think】</p> <ul style="list-style-type: none"> 映像資料を視聴し、どの行事のことを言っているのかを考えたり、その行事に対する児童の感想を尋ねたりする。 <p>○キーワードゲーム</p> <p>ペアで向かい合い、担任がキーワードとなる語彙を言ったら、二人の間に置いた筆箱を取り、先にとった方が勝ち。(行事の言い方を練習)</p> <p>○ポインティングゲーム</p> <p>担任、ALT が言う行事名を聞き、その絵を指差す。</p>	<p>◎世界のさまざまな学校行事と自分たちの生活との違いに気づいている。</p> <p>(行動観察、ふりかえりカード)</p>
2 本 時	<p>◆思い出に残っている学校行事や出来事について、友達と尋ねたり答えたりすることができる。</p> <p>○キーワードゲーム</p> <ul style="list-style-type: none"> 行事の言い方を復習する。 <p>【Let's listen①】</p> <ul style="list-style-type: none"> 音声を聞き、登場人物がどの行事のことを話しているかを聞き取る。 <p>【Let's listen②】</p> <ul style="list-style-type: none"> 音声を聞き、どの学校行事のことを話しているのかを考える。 <p>【Let's talk】</p> <ul style="list-style-type: none"> 教室を動き回り、出会った人と、どの行事が思い出に残っているかを尋ね合う。 	<p>◎思い出に残っている学校行事や出来事について尋ねたり答えたりしている。</p> <p>(行動観察、ふりかえりカード)</p>

3	<p>◆思い出に残っていることやその理由を絵や文を用いて表現して、思い出ブックを作成することができる。</p> <p>○既習語彙、表現の復習。</p> <p>○思い出ブック作成</p>	<p>◎思い出に残っている学校行事や出来事をもとに、思い出ブックを作成している。</p> <p>(行動観察、 ふりかえりカード)</p>
4	<p>◆思い出に残っていることとその理由を、友達と伝え合うことができる。</p> <p>○既習語彙、表現の復習。</p> <p>○思い出ブックを用いて、グループで思い出に残っている学校行事や出来事について伝え合う。</p> <p>○友達と伝え合い、感じたことを発表する。</p>	<p>◎相手に伝わるように工夫しながら、思い出に残っていることを、友達と伝え合おうとしている。</p> <p>(行動観察、 ふりかえりカード)</p>

6. 本時の展開 (本時 2 / 4 時間)

(1) 目標 思い出に残っている学校行事や出来事について、友達と尋ねたり答えたりすることができる。

(2) 展開

時間	児童の活動 【 】 誌面化されている活動	・指導者活動と使用英語例 ◎評価〈方法〉
1分	1. 挨拶をする	・曜日、日付、天気を尋ねる。
3分	2. 歌を歌う。	・担任も一緒に元気よく歌う。
3分	<p>3. 本時のめあてを確認する。</p> <div data-bbox="225 1375 794 1447" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>思い出に残っていることを伝え合おう。</p> </div>	<p>・担任と ALT のデモンストレーションを行い、本時の見通しを持たせる。</p> <div data-bbox="836 1413 1469 1541" style="border: 3px double black; padding: 10px;"> <p>A: What's your best memory? B: My best memory is ~.</p> </div>
7分	<p>4. 前時の復習をする。</p> <p>○キーワードゲーム (3パターン)</p> <p>・行事の言い方を復習する。</p> <p>①単語のみ</p> <p>②担任: "What's your best memory?" ALT: "My best memory is ○○."</p> <p>③児童: "What's your best memory?" ALT: "My best memory is ○○."</p>	<p>・ゲームを行う前に、ALT とともに、学校行事の言い方を復習する。</p>

10分	<p>5. Activity 1に取り組む。(聞く活動)</p> <p>【Let's listen①】</p> <ul style="list-style-type: none"> 音声を聞き、登場人物がどの行事のことを話しているかを聞き取る。 <p>【Let's listen②】</p> <ul style="list-style-type: none"> 音声を聞き、どの学校行事のことを話しているのかを考える。 <p>(We can!2 P52)</p>	<ul style="list-style-type: none"> “fun” “exciting” など感想を伝える表現をふりかえり、音声の中で出てくることを伝えておき、登場人物が思い出に残っている出来事とそれに対する感想を聞き取るようにさせる。 正解を確認する時に、“Why?” と尋ね、どの言葉をヒントに考えたのかを尋ねるようにする。
13分	<p>6. Activity 2に取り組む。(やりとり)</p> <p>【Let's talk】</p> <ul style="list-style-type: none"> 教室を動き回り、出会った人と、どの行事が思い出に残っているかを尋ね合う。 <p>(We can!2 P53)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 初めに、担任が “What's your best memory? Sports day?” などと質問を投げかけながら、質問の仕方に聞き慣れさせる。ある程度行った後、児童全員で担任やALTに尋ねるなどの言い方の練習を行なうようにする。 コミュニケーション活動では、教室を自由に周り、出会った人とやりとりを行うようにする。その際、できる児童は、“It was fun.” などの感想をつけて話すように伝える。 <div style="border: 2px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>◎思い出に残っている学校行事や出来事について尋ねたり答えたりしている。 (行動観察、ふりかえりカード)</p> </div>
7分	7. ふりかえりをする。	<ul style="list-style-type: none"> 本時の感想とともに、学習した学校行事の語彙をワークシートに書き写すようにさせる。 本時の学習の中で、「言いたかったけど、言えなかったこと」を尋ねて、全体で共有する。
1分	8. 挨拶をする。	